

# つながる ひろがる

新潟産業人クラブ

かわらばん 2022年7・8月号 🌟 新潟産業人クラブ（先端技術研究会）

## 6月例会「商工中金の歴史と新たなサービスを紹介」

新潟産業人クラブの6月例会は14日、県鳥である朱鷺のトキ色をイメージしたとされる外観で有名な新潟グランドホテル（新潟市中央区）で開催された。例会は商工中金（新潟市中央区）の黒田直洋新潟支店長兼長岡支店長を講師に招き、設立背景やこれまでの沿革などを聞いた。新サービス「ESG（環境・社会・企業統治）診断」なども紹介があった。

商工中金は、1920年の戦後恐慌や23年の

関東大震災を背景に、協同組合と国の双方から設立機運が高まり36年に設立されたという。そのため現在の株主は国が約46%、協同組合などの民間が約54%で構成。総調達金額のうち75%を法人中心の融資に、25%を国債や株式投資に充てている。金融専門紙「ニッキン」の調べでは、融資量は約9兆円で国内金融機関10位の位置にあるという。

国の融資制度「危機対応融資」での2000億円超の不正で業務改善命令を受けた過去の制度融資の不幸事にも触れた。主因のノルマ廃止やさまざまな合理化が進んだと説明。



黒田直弘商工中金支店長



乾杯は井上浩仁社長



中締は金究武正社長

黒田支店長は「この影響で人員は減ったが、支店網は変えない方針。私が新潟と長岡の支店長兼務なのはこの流れ」と話した。過去の反省の基に今の姿があることを強調した。

新サービスも紹介した。そのひとつである「ESG診断」は、自社の取り組み状況を簡易診断できる情報通信ツール。船井総研（大阪市中央区）と連携したという。また、従業員の幸せ度をアンケートからレポートに表す「幸せデザインサーベイ」も紹介した。

懇親会では、NAコンサルティング（新潟県燕市）の井上浩仁社長が乾杯の音頭をとった。「利益を出すSDGs支援をしておりますので」と自社のアピールも忘れなかった。中締めは、山勝電子工業（川崎市高津区）の金究武正社長が務めた。「この会が創設すぐの頃はものすごい人たちばかりだった。そうでないと会社を支えられなかったのかもしれないが、今日は2代目後継者が増えていて素晴らしい」と締めくくった。

## 7月例会 「SDGs と次世代人材の育成について」



村山敏夫新潟大学准教授

7月例会は20日、前回同様新潟グランドホテル（新潟市）を会場に開催された。FM新潟でも活躍している新潟大学の村山敏夫准教授を招き、国連の持続可能な開発目標（SDGs）と次世代人材の育成の関わりについて、日頃の活動をちりばめながら熱い想いを語って頂いた。約30人が熱心に耳を傾け、その後の懇親会でも積極的に情報交換した。

村山准教授は例会の講演で、

SDGsの名の下に地域を巻き込みひとり一人が自分で考えて行動する重要性を力説。その1例として、同大工学部の学生が新潟県警察本部の交通安全教室に協力した例を挙げた。学内からは当時、「工学部がなぜそんなことを」と疑問視する声があったという。しかし、この間の信頼構築により、研究中の自動車を「免許センターで走らせてみては」と提案を受けた。従来であれば、「その車は公道で走れません」で終わっていたところだった。取り組みの



トキエアの長谷川政樹社長が乾杯

積み重ねで、自身に有利に働くこともある。地元企業との連携でも、終了後、「うちに入社してみないか」の打診を受けた学生は後を絶たず、後輩の情熱にも火がつき、地域貢献の好循環が生まれたという。SDGsの17番目のゴールでもある「パートナーシップで目標を達成しよう」を引き合いに、巻き込むことの重要性を会員に訴えかけた。

懇親会では、トキエア（新潟市）の長谷川政樹社長が乾杯の音頭を取った。壇上で「地域をささえる我々のような交通機関が今こそ必要。国が許可するにあたり、事業の安全性と資本の健全性が重要視されている。今後もぜひご支援ください」と話した。この日は、航空運送事業の許可を国土交通省東京航空局に正式申請する直前という大詰めタイミングで、同社役員の参加は4月例会の阪口葉子会長に続いて2回目。

中締めは、北越メタル（長岡市）の棚橋章社長が務めた。「今は私の出身母体とのプロキシー・ファイト（委任状争奪戦）を終え、第二のスタートを切るところ。みなさんと久々に情報交換できて大変よかった」と述べ、気力をさらに増した様子で締めくくった。



中締めは棚橋章社長

## 新潟産業人クラブゴルフ会「栗山研一氏が優勝！」



新潟産業人クラブゴルフ会（会長：土田隆太郎新潟ヒロタカデザイン事務所社長）の春季ゴルフコンペが6月19日、新発田市のノーブルウッドゴルフクラブで開催された。当初懸念された空模様も一転。当日は驚くほどの快晴に恵まれ、13名の腕自慢たちが日頃の鍛錬の成果を競い合った。

結果は、栗山米菓（新潟市北区）の栗山研一取締役がグロス103、ネット74.2で初優勝。準優勝はコーワシーリング（同南区）の田伏厚志社長、3位とベストグロス賞は高儀（新潟県三条市）の高橋達也社長が受賞した。

自己ベストも更新したという栗山社長は「今日は調子が良かった」と景品の焼き肉用米沢牛500グラムを手喜びを語った。

◀写真左：土田会長 中央：栗山研一さん

### 【8月例会（納涼会）のご案内】

8月恒例の納涼会（実行委員：ジーベック国際特許事務所 小松悠有子弁理士 プロントネット 白井大志社長）は、8月23日（火）18時より、信濃川右岸の「やすらぎガーデン2022」（ミズベリング新潟 やすらぎ堤防右岸）で行います。開放的な環境で夕日を見ながら美味しい食事とお酒をご満喫ください。今年はサプライズをご用意してご参加をお待ちしております。

ぜひご期待下さい！



事業予定

<u>8月23日(火)</u>	8月例会	納涼会
<u>9月14日(水)</u>	9月例会	定時総会
<u>10月17日か27日</u>	10月例会	ものづくり日本会議との特別例会
<u>11月16日(水)</u>	11月例会	秋竹 朋子氏 ビジネスヴォイストレーニング
<u>12月13日(水)</u>	11月例会	忘年会 行形亭（いきなりや） 18時より

水曜と火曜を交互に開催。どうぞ、ご予定に入れておいてください。

◎全国の活動は[日本産業人クラブ連合会ホームページ](#)。各クラブ一部事業に参加可能。  
 ☆かわらばんの掲載写真をご希望の際は、事務局へお気軽にご連絡ください。